



蛭小、便り

蛭川小学校
学校だより
2023. 1. 24
No. 12

やるからできるようになる

校長 伊地知みゆき

この時期子どもたちは、体育の授業や休み時間に短縄跳びの練習に励みます。廊下にかけてある自分の縄を準備しながら、声を掛け合って校庭や体育館に出て行きます。低学年では、まだリズムよく回せずに「止まってはやり直し」を繰り返す子も見受けられます。それでも何度も何日も練習していくうちに、次第に上手に跳び続けることができるようになっていきます。

「できるからやるのではなく、やるからできるようになる」

学校生活の中ではたくさんの「できない」壁が立ちただかります。「できないからやりたくない」「ぼくにはむり」など、最初からあきらめる子どもたちも多々います。そんな中で子どもたちが、「やってみよう」「挑戦してみたい」と自分の可能性を広げようと一歩踏み出していく前向きな姿を見せてくれたとき、胸が熱くなります。

以下の文は冬休み明け集会の放送で、広場会 6 年林円香さんが話してくれた言葉です。

～前部分省略～

最後に仲良し言葉、行動について話します。これは、これから一番力を入れていきたいと思っていることです。誰にでも得意なことと、苦手なことがあります。私は、それが自分らしさだと思ふし、すてきなことだと思ふます。そして、蛭川小をそんな自分らしさを認め合える学校にしていきたいです。そのために友達の性格や感じていることを知ることを大切にしたいです。皆さんは静かに過ごしたいと思っている人や、集中して授業をしたいと思っている人の気持ちを考えて行動していますか。今の蛭川小学校はそれができていないと思ふます。人権週間では、いじわる言葉・行動があること、周りの人の気持ちを考えない行動があることに気づくことができました。これからの生活で全員が自分がやりたいことだけをするのではなく、お互いの気持ちを考えて行動をして笑顔でいっぱい为学校にしていきたいと思います。

これからの3カ月、できるようになったことを一つでも増やして、次の学年につないでほしいと願っています。

人権標語 心をこめて作品を作りました

はいどうぞ
ぼくもつかうよ
ありがとう
一年 林佑都さん

チクチクを
なくして
ポカポカ
ふやそうね
一年 田口虎和さん

みとめ合う
いろんなこせい
すてきな
四年 青木 颯佑さん

「すこいね」で
心がほかほか
あったかい
三年 大鹿環さん

なかなおり
けん力をしたら
あやまろう
三年 林雛乃さん

温かい言葉が広がり、笑顔と感謝のあふれる学校になりますように

悲しいと
思う言葉を
なくそうよ
五年 林綾乃さん

いじわるを
蛭川小から
なくそうよ
六年 勝滉太さん

あたたかい
ことばのちから
むげんだい
四年 井上愛徠さん



書き初め展

ご参観ありがとうございました

1月12日(木)・13日(金)に書き初め展を行いました。冬休みの課題として書いた書き初めを体育館に全校一堂に展示しました。日頃の書写の学習の成果を発表する場になっています。止め、はね、はらい、全体のバランス等に気をつけ、休み前の指導をしっかり守って書けている子が多く大変感心しました。金、銀、銅の賞をつけて頑張りを称えました。金賞の子を紹介します。

- 【1年生】佐伯 佳南さん
- 【2年生】林 優宗さん
- 【3年生】大橋 華さん
- 【4年生】遠藤 あさひさん
- 【5年生】永治 宏陽さん
- 【6年生】三戸 優空さん